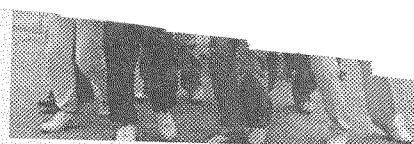


を求める会」の永井多恵子・大阪支部代表らは「遅過ぎるくらいだ。もっと積極的に虐待を防止する保護条例を制定すべきだ」と話している。



11年ぶりに町を練り歩くことになった台額

怠気込む氏子たち

昨年は高さ五尺、重さ約十キの子供台額五基が参加し、境内を巡った。しかし、同神社台額保存会（田中一生代表）や氏子たちがPRして次の世代に伝えていきたい」と話している。昭和六十から復活の機運が高まり、

一年に市の有形民俗文化財に指定されており、うち二基は百五十年前の天保十四年（一八四三）と弘化二年（一八四五）に作られたとされる。天保のころから神社の秋祭りの宵宮祭の日に欠かせない風物詩として親しまれてきた。このほど行われた試し担ぎには保存会のメンバーら三十人が集まり、直徑十五尺、長さ五尺の担ぎ棒四本を縛りつけ、準備完了。二十人が合図とともに一気にか、年々担ぎ手が減少、高齢化し、昭和五十七年を最後に中断。代わりに重さ六十キの子供台額五基が参加

田中さんは「ハイライトは鳥居をくぐり、約三十段の階段を一気に駆け上る時。台額の魅力を感じてPRして次の世代に伝えていきたい」と話している。

活排水とを一緒に処理する合併処理浄化槽の普及を推進するよう要望した。

江部高広・環境保健部長は設置家庭に国や府、市町村から補助が出る浄化槽設置を促進するため、これまでは下水道計画区域外に限っていた対象を、同区域内にまで広げること検討する考えを示した。

保健所の捕獲、引き取り犬と猫

医療機関への払い下げ廃止

府が方針

府は八日、保健所が捕獲

したり引き取ったりした犬や猫を動物実験用に医

療研究機関へ払い下げるのを廃止する考えを明らかにした。府議会での林啓子議員（公明）の質問にこた

えた。

環境保健部によると、府が昨年度、取り扱った犬と猫は計約二万二千匹で、うち約千七百匹が実験用に大

阪大など五医療機関に引き

取られた。払い下げについては動物

保護団体から強い批判が出ている。「動物実験の廃止

大阪府の環境保健部